

2024年11月15日

「PRIDE指標2024」において 9年連続最高評価の「ゴールド」を受賞

第一生命ホールディングス株式会社(代表取締役社長 CEO:菊田 徹也)では、企業内のLGBTQなどの性的マイノリティ(以下、LGBTQ)に関する取組みの評価指標「PRIDE指標」における最高位「ゴールド」を9年連続で受賞しました。

work with Pride



当社グループでは、多様性に満ちた、公平でインクルーシブな環境作りを経営戦略のひとつとして位置づけており、本年2月には「ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン ステートメント」を発表し、性別、年齢、国籍、人種、民族、宗教、社会的地位、障がいの有無、性的指向、性自認、ライフスタイルなどにかかわらず多様な人財が互いに尊重し、安心して活躍できる環境作りを進めております。

そのなか、LGBTQについては、「第一生命グループ行動規範」においてベースとなる行動の一つとして、すべての人々の人権を尊重し、人権啓発にも積極的に取り組むことを定めております。これらの方針のもと、研修、セミナー実施等による社員の理解促進や休暇制度・社宅貸与基準の拡大適用など、LGBTQにフレンドリーな企業を目指した取組みを推進しています。

今後もLGBTQへの理解促進に努め、多様な人財が活躍できる風土を醸成していきます。

■お客さま向けの取組み

保険金の受取人	ご契約者さまが同性のパートナーを受取人として希望された場合に、「パートナーシップ証明書」の写しをご提出いただくことにより、原則、同性パートナーを保険金の受取人に指定することができ、よりスムーズにお手続きできます。
---------	--

■社員向けの取組み

LGBTQに関する方針の策定	社員が遵守すべき方針(行動規範等)に「性的指向・性自認」を理由とする差別をしないことを明記しています。
相談窓口の設置	LGBTQ に関する相談窓口を設置し、個別相談に応じる体制を整備しています。
情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・LGBTQ への理解促進のための研修・セミナーを全社員に向けて実施しています。 ・LGBTQ に関する基礎知識資料を社内イントラネットで提供しています。 ・レインボーマークを貼付したオンライン会議用背景を提供しています。
休暇制度の拡大適用	結婚・出産時等の休暇制度について、客観的資料等をもとに、原則、同性パートナーを配偶者と同様に休暇取得の対象とします。
社宅貸与基準の拡大適用	社宅付与の基準について、客観的資料等をもとに、原則、同性パートナーを家族として判定します。

※PRIDE指標

任意団体「work with Pride」が2016 年に日本初の職場におけるLGBTQ 等への取組みの評価指標として「PRIDE指標」を策定。“Policy”(行動宣言)、“Representation”(当事者コミュニティ)、“Inspiration”(啓発活動)、“Development”(人事制度、プログラム)、“Engagement/Empowerment”(社会貢献/渉外活動)の5つの項目でLGBTQ への施策を評価するもので、総合的に「ゴールド」、「シルバー」、「ブロンズ」の3段階で表彰。

■work with Pride について

<https://workwithpride.jp/>

■当社グループのダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンに向けた取組み

<https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/initiatives/diversity.html>

■第一生命グループ行動規範について

https://www.dai-ichi-life-hd.com/about/aims/pdf/conduct_001.pdf